

みんなの「ええところ」

新野小学校 二年 中川 桔平

なかがわ きつぺい

(敬称略)

道とくの時間に、先生が「ええところ」という本の読み聞かせをしてくれました。ともちゃんがあいちゃんのええところを見つけているいい本です。あいちゃんのええところは「手があたったかいこと」と言ったのがびっくりしました。一人ひとりいいところがあるんだと分かりました。読み聞かせの後、みんなで友だちのええところがしをして、カードに書き合いました。

ぼくのクラスには、いろいろなええところをもった友だちがいます。Aさんは、足がはやいし、Bさんは、計算がじょうずです。Cさんは、はっぴょうがじょうずです。DさんとEさんは、絵がじょうずで、Fさんは、ボールをなげるのがとくいです。Gさんは、しっかりもので、Hさんは、友だちにやさしいです。友だちのええところがつきつきにうかんできました。書きながら、友だちはよろこんでくれるかなとわくわくしてきました。友だちは、ぼくのええところも見つけてくれました。カードをひらくとき、すこしドキドキしました。カードをあけると「しせいがかきれい」「図工がじょうず」「なわとびがじょうず」「あいさつがいい」などと書いてくれています。心の中がともうれしい気もちでいっぱいになりました。とくに「いつも元気をくれる」と言ってくれたのがうれしかったです。友だちは、ぼくのことをこんなふうに思ってくれていたんだと考えると、ぼくの方こそ元気が出てくるようでした。まわりの友だちもえがおいっぱいでした。これからは、ちよつとしたところでもええところを見つけたら、すぐにつたえようと思います。言っても言われてもうれしい気もちになるからです。ええところをつたえ合って、えがおいっぱいになると思います。そして、じぶんのいいところも、もっともつとふやしていきたいと思っています。